

～実践編～



* 自作教材には「おたまのじさく」マークが付いています

事例に出てくる[教材・教具]『書籍』《アプリ》については「資料編：3-1教材・教具等一覧」に掲載しています



授業形態	自校	他校	巡回
	個別指導		グループ指導

実態:小学校 低学年 ・ひらがなの読み書きが苦手である。 ・発音に誤りがある。 ・友だちや先生の名前を覚えるのが苦手である。 ・友だち関係は良好だが、登校を渋ることがある。	長期目標 ・見たり触ったりする体験的な活動を通して、読んだり書いたりできるひらがなを増やす。 ・タブレットPCを使った文字入力を経験する。
---	--

通級での指導・支援

読んだり書いたりできるひらがなを増やすために

- 文字学習の基本的な力を付ける。

・形を認識する学習:

点つなぎ、形づくり(図形キューブつみき)

・聞く力を付けるための学習:

『聞きとりワークシート』



図形キューブつみき



聞きとりワークシート

- 多感覚を使ってひらがな学習をする。

・ひらがな学習カードを使う。

文字にイメージをもたせるために絵と文字をマッチングさせて覚える。

・トランポリンを使う。

トランポリンを跳びながら文字を読む。

・魚釣りゲームを使う。

□答で指示された単語カードを釣り上げる。

・スイングブランコを使う。

うつ伏せになってブランコに乗り、覚えた文字カードを取る。

ブランコを揺らしながら文字カードを貼ったペットボトルをキックする。



ひらがな学習カード

タブレットPCを使った文字入力ができるように

- 文字の入力を経験する。

《ひらがなトレーニング》を使ってしりとりをする。

《筆談パッド》で文字を書く練習に取り組む。

ひらがな入力の練習をする。

日記は出来事を話し、録画する。



ひらがなトレーニング



筆談パッド

通常の学級での指導・支援

・学生ボランティアが教科の学習時に読み書き支援をする。

・テストは休み時間に担任が読み上げて実施する。

・視覚支援が有効なので、大型テレビに教材を映し出し、説明する。

通級での変容

- * 読んだり書いたりできるようになったひらがなが増え、学習に前向きになった。
- * タブレット PC の取り扱いに慣れ、積極的に活用するようになった。

通常の学級での変容

- * 書きたい内容を口頭で伝え、自分から代筆が求められるようになった。



授業形態	自校	他校	巡回
	個別指導		グループ指導

実態：小学校 低学年 ・1年生初期に学習する「山・川」などの象形文字を元にした漢字は覚えられた。 ・漢字の訓読みはできるが、送り仮名を正しく書けない。また、訓読みで覚えてしまうと音読みが覚えられない。	長期目標 ・当該学年の漢字の読み書きができるようになる。 ・漢字に興味をもち、様々な場面で活用することができる。
---	---

通級での指導・支援 当該学年の漢字の読み書きができるように ○ 『意味から覚える漢字イラストカード』を使う。 ・学習 その1 イラストと漢字を同時に見て、漢字の読みを覚える。フラッシュカードのように次々と読みを答える。 ・学習 その2 イラストを隠し、漢字の読みを答える。 ○ タブレットPCアプリ 《常用漢字筆順辞典》を使う。 ・マス目の中にバランス良く文字を書くために、筆順を確認しながら形をなぞる。タッチペンを使用し、鉛筆を操作するのと同じ感覚でなぞる練習をする。 ○ 漢字の形を体で表現する。 ・縦棒や横棒が全体のどのあたりに付くのか、自分の体の位置と照らして確認する。 ○ ワークシート(既習の漢字をカテゴリーごとに整理したシート)を使う。 ・覚えている漢字を「色の漢字」「体の部分の漢字」などにカテゴリー分けして整理する。	通常の学級での指導・支援 ・通級で使った教材プリントを学級で掲示し、毎日確認できるようにする。 ・本児が教材プリントを壁に掲示する際、カテゴリーごとに分けて貼れるように、掲示スペースを工夫する。
---	--



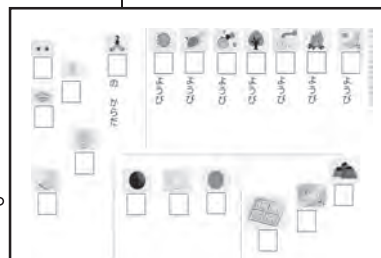
意味から覚える漢字イラストカード



常用漢字筆順辞典



新・筆順辞典



カテゴリーごとに整理したシート

通級での変容 * その漢字の中に隠れているカタカナや既習の漢字を見つけて、組み合わせて覚えようとするようになった。 * 送り仮名はどうなっているかを考えながら漢字を学習するようになった。 * 漢字には様々な読み方があることを理解し、他の読み方があることに興味をもつようになった。	通常の学級での変容 * 文章を書くときに、意欲的に漢字を使おうとしている。 * 掲示されている漢字を毎日見るようになった。 * 自分から繰り返し漢字の学習をするようになった。
---	---



読み書き
計算

2-1-3

これならできる！

授業形態	自校	他校	巡回
	個別指導	グループ指導	

実態：中学生

- ・漢字を覚えられず、文字も書こうとしない。数学は本人にとって得意な教科の一つである。
- ・言葉でのコミュニケーションが苦手である。

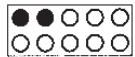
長期目標

- ・方程式が解けるようになる。
- ・小学校 4 年生までの漢字を読めるようになる。
- ・対人関係スキルを身に付ける。

通級での指導・支援

方程式が解けるように

- ウォーミングアップをする。
 - ・ドットカードでワーキングメモリーを鍛える。
 - ・サイコロの目でかけ算をする。



「ぱっと見て、10の補数を答えてね」
「正解は8だね」

できるだけ早く答えよう。
今日は7の段の九九！



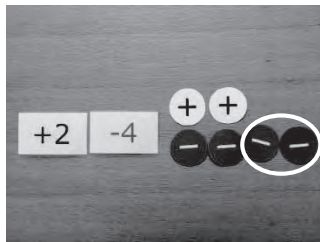
ななご・・・
35だ！

九九は言いやすい言い方でいいよ

- 正の数カード、負の数カードで数唱をする。
- +-チップで計算の達人を目指す。



+-チップ



+2-4の計算の場合

+2は+チップが2個、
-4は-チップが4個、
チップは-チップが2個多いので、
答えは-2

小学校 4 年生までの漢字を読めるように

- 数学の問題文で漢字の読み方を練習する。
 - ・4年生までの漢字を使って、得意教科である数学の文章問題を作る。問題文は長くしておき、できるだけ漢字を読む機会を増やす。

通常の学級での指導・支援

- ・全体指示の後、本人の求めに応じて説明を加える。
- ・教員の指示は短く端的に伝え、本人が理解できているのか確認する。
- ・図やイラストなどを多く使った補助プリントを使う。

- ・読めない漢字に読み仮名を付けたリ、読み上げをしたりする。

通級での変容

- * 分からないときには机に伏せたり黙ったりしてしまうのではなく、「先生、来てください」「ここを教えてください」など伝えられるようになった。
- * マンツーマン指導なのですぐにサポートがもらえ、できることが増えた。
- * 苦手な文章を読むことや書くことにも取り組むようになってきている。

通常の学級での変容

- * 1学期、授業ではできそうな内容でも机に伏せていることが多かった。数学の授業では質問に答えたり、板書を写したりする姿が見られるようになった。



読み書き
計算

2-1-4 英単語を覚えられるようになったよ

授業形態	自校	他校	巡回
	個別指導	グループ指導	

実態 :中学生 ・聞いたことを理解するまでに時間がかかり、言葉のやりとりが苦手である。 ・文字のバランスが悪い。不器用さがある。 ・英単語を覚えることが難しい。	長期目標 ・自立的、自発的に英語の学習ができる。 ・単語テストで点数を採ることができる。 ・学習で「分からないこと」や「困ったこと」があったとき、相手に伝えることができる。
--	--

通級での指導・支援

自発的に英語の学習ができるように

- 基礎になる「読み書きに必要な力」を付ける。
 - ・ビジョントレーニングをする。
 - タングラム
 - バランスボード
 - 『〇×数字レース』
 - ・聞くトレーニングをする。
- 英単語を覚える。
 - ・単語の音割り
 - ・〔移動英文字の箱〕

積み木を見たり触ったりし、様々な感覚を使いながら英文字を覚える。
- ・DAISY教材
 - 《PLEXTALK Producer》にて作成
 - 《いーリーダー》にて再生
- 英文法の練習をする。
 - ・《早打ち英文法》のアプリを使って、文法・単語練習をする。



〇×数字レース



移動英文字の箱



いーリーダー

通常の学級での指導・支援

- ・次の授業の内容が理解できるよう、教科担当と打ち合わせをする。
- ・授業スタート時に学年全員に配布して使用する。
 - マス目の入ったノート
 - Logical English 13 (ナカバヤシ)
- ・定期テスト前は課題の提出が多いため、課題の量や提出日について、本人と教科担当で話して決める。
- ・定期テストの一週間前から教室を開放し、学習支援を行う。通常の学級担任が参加するよう呼びかける。

通級での変容 * DAISY教材で練習することで、書いても覚えられなかった単語を覚えられるようになった。自分なりの覚え方を見つけて、学習に対して以前にも増して積極的な姿が見られるようになった。 * 結果が出たことで自信をもち、周りの友だちや教員に質問できるようになった。	通常の学級での変容 * 単語テストで点数が採れるようになり、表情が明るくなった。 * 授業に対して前向きになり、次の授業の内容を自分で教科担当に聞くようになった。
--	--





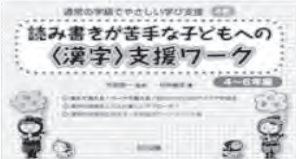
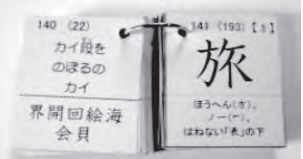

読み書き
計算

2-1-5

こんな勉強方法があるんだ

授業形態	自校	他校	巡回
	個別指導	グループ指導	

実態:中学生 ・視空間認知に弱さがある。 ・漢字を書くことが特に苦手である。 ・英文はほとんど読めず、英語への苦手意識が強い。	長期目標 ・小学校6年生までの漢字の読み書きができるようになる。 ・フォニックスを手がかりに、英単語が「読める」という体験を積み重ねて、苦手意識を軽減する。
---	---

通級での指導・支援 小学校6年生までの漢字の読み書きができるように ○ 形をよく見て、見比べる練習をする。 ・『コグトレ』(間違いさがし、記号さがし等) ○ 漢字の学習をする。 ・『〈漢字〉支援ワーク』、『漢字イラストカード』 『ミチムラ式漢字カード』(使用方法についてはHP参照)を用いて、書く回数を減らして漢字の読み書きを学習する。	 コグトレ  漢字イラストカード	通常の学級での指導・支援 ・学習プリントや定期テストでは、拡大したものを渡す。 ・読めない漢字に読み仮名をふる。
 〈漢字〉支援ワーク  ミチムラ式漢字カード  はじめてのジョリーフォニックス	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 小学校の外国語活動でも使えます。 </div>	
英単語が読めるようになるために ○ 『はじめてのジョリーフォニックス』を活用して学習する。 〈付属のCDのほか、無料アプリも活用〉 1. ストーリー (英語のストーリーを聴く) 2. アクション 3. 読む 4. 音の聞き取り 5. 文字の形を覚える 6. 書く 7. 歌 「耳で聞いて、目で見て、動作して」を繰り返し、音を細分化する(セグメンティング)、音と音をくっつける(ブレンディング)を通し、英単語を身に付けていく。		

通級での変容 * 英単語が読めるようになってきた。 (「定期テストの問題文で単語が分かったとき、とてもうれしかった」:生徒談) * 電子辞書を使って自分で調べるといった習慣が身に付いてきた。	通常の学級での変容 * 英語で音読するとき、みんなと一緒に声を出せるようになった。 * プリントを拡大することで意欲的に取り組めるようになってきた。
---	---